

# おい町及び小浜市からのPAZ圏内避難時（県内避難）の物資備蓄・供給体制

おばま

- ▶ おおい町、小浜市のPAZ圏内からの避難住民約1,047人の受入れ時には、福井県、おい町及び小浜市と災害時協定を締結している指定業者等からの流通備蓄と受入先自治体による備蓄のほか、福井県、敦賀オフサイトセンター、日本赤十字社福井支部に備蓄された物資（食料等の生活用品）等を、福井県トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- ▶ 福井県及び関係市町が備蓄している物資が不足する場合、福井県から、原子力災害対策本部に対し物資調達の実務を行う。

## 日本赤十字社福井県支部備蓄

- ・毛布: 4,238枚
  - ・緊急セット(携帯ラジオ、懐中電灯等): 2,851個
  - ・安眠セット(マット・枕等): 481個
- 等

## 敦賀オフサイトセンター備蓄

- ・食料: 6,960食
  - ・毛布: 4,300枚
  - ・大人用紙おむつ: 680枚
- 等

等

UPZ

PAZ

小浜市

## 敦賀市備蓄

- ・食料: 22,185食
  - ・毛布: 5,773枚
  - ・飲料水: 85,902リットル
  - ・トイレ: 720個
- 等

## PAZ住民避難先 (県内避難の場合)

	避難先施設
内外海地区	福井県立武生商業高等学校 ／越前市
大島地区	敦賀市立栗野中学校

	協定の種類	内容
福井県	災害時における応急生活物資の協力に関する協定 ほか2協定	災害発生時における応急生活物資等の供給
おい町	災害時における物資供給に関する協定	災害発生時における応急生活物資等の供給
小浜市		

## 避難元自治体による流通備蓄

- ・食料品、飲料水、日用品、衣料品
- ・その他おい町が指定する物資

(※) 物資備蓄数は概数

**おおい町及び小浜市からのPAZ圏内避難時（県外避難）の物資備蓄・供給体制**

- おおい町及び小浜市のPAZ圏内からの避難住民約1,047人の受入れ時には、受入先自治体の支援のほか、福井県の調達した物資、日本赤十字社兵庫県支部に備蓄された物資（毛布等の生活用品）等を、福井県トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 広域避難の際の避難所の運営に必要な物資については、避難元・避難先が協力して確保をする。また、原子力事故による単独災害時には、物資の流通網は健全なことが想定されるため、避難先の民間事業者等から食料品をはじめ生活用品等の調達を積極的に行う。
- 物資が不足する場合には、福井県から、原子力災害対策本部等に対し物資調達の要請を行う。

**避難先における物資確保の流れ**

避難所へ

物資

 受入市町の  
支援物資  
(必要に応じて)

 おおい町及  
び小浜市が  
協定等により  
調達した物資

要請

福井県が協定等により調達した物資

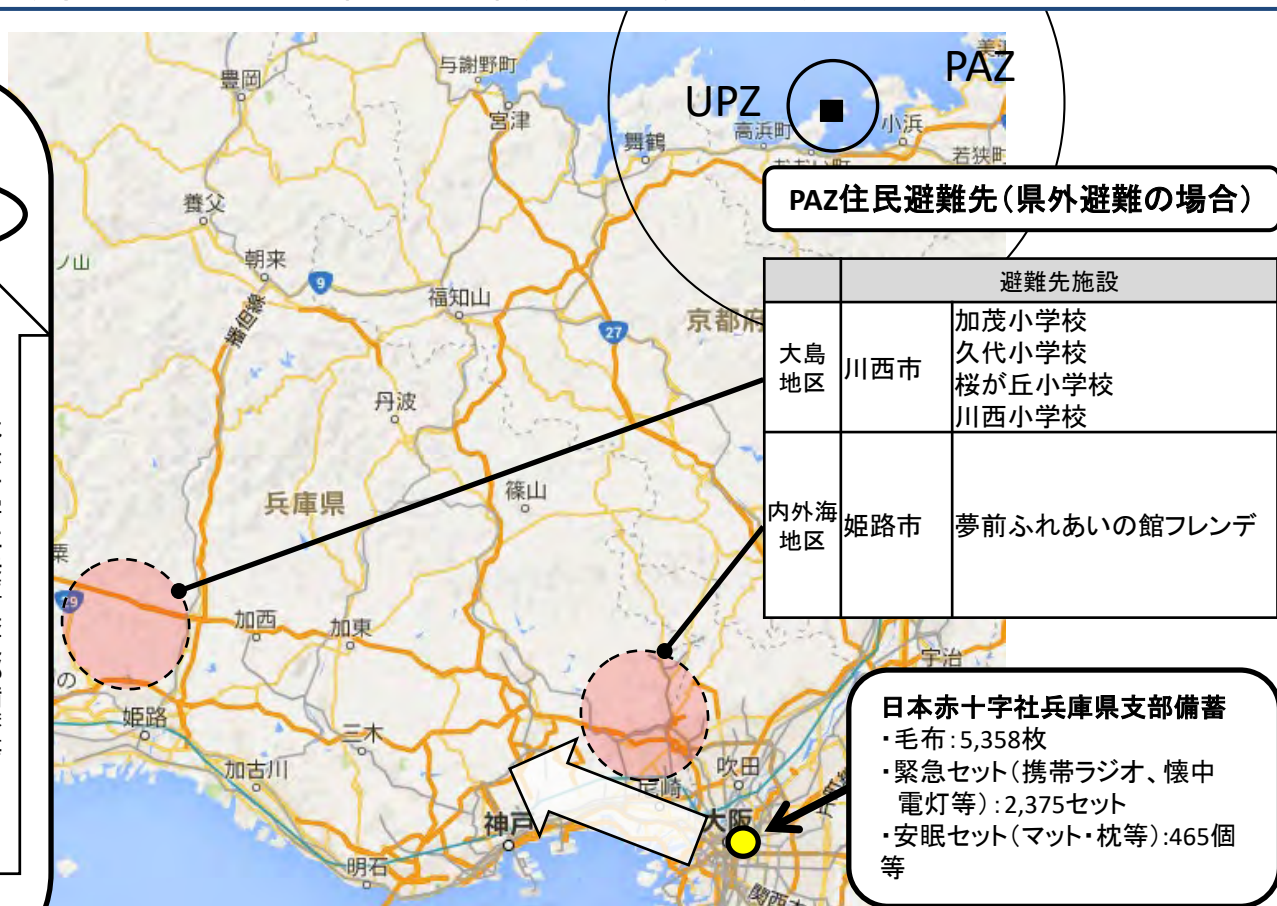
要請

 原子力災害対策本部の指示により  
調達した物資

物資

物資

日本赤十字社兵庫県支部備蓄等

 ※その他物資が不足する場合には、関西  
広域連合と連携し必要物資を確保


# 物資集積拠点・一時集結拠点

- 物資供給の迅速性を高めるため、国からの物資を集積する物資集積拠点を設定。物資集積拠点で、地域のニーズ等を踏まえて必要な食糧や物資を分別し、住民の避難先や一時集結拠点に輸送。
- 一時集結拠点では、物資集積拠点から搬送された物資をもとに、地域住民の状況を踏まえて物資を供給。あわせて、地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請を行う。
- 物資集積拠点・一時集結拠点は、防災業務関係者への災害関係情報の提供拠点としても活用。



## 物資集積拠点

(福井空港、丹波自然運動公園、三木総合防災公園、徳島県立防災センター)

- ・避難・屋内退避住民に対する政府の供給食料・物資の集積
- ・ボランティア団体等による食糧・物資の集積
- ・オフサイト対応で必要となる放射線防護資機材
- ・追加で必要となる緊急時モニタリング資機材及び放射線防護資機材
- ・避難住民への食糧・物資の供給
- ・災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報)等



## 一時集結拠点

(原子力災害対策重点区域外の3拠点)

- ・屋内退避住民への食糧
- ・物資の供給
- ・緊急時モニタリング資機材及び放射線防護資機材の供給
- ・地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請
- ・原子力災害対策重点地域への入域に必要な情報提供等
- ・災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報)等